

# おおたの教育

今号の主な内容

第117号

大田区教育委員会広報

平成25年(2013年)  
10月1日発行

- 1面 中学校生徒海外派遣 実施報告
- 2面 大田区学習効果測定 結果報告
- 3面 特別展「川瀬巴水—生誕130年記念—」
- 4面 第30回大田区民スポーツまつり

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 国際社会で活躍する人材を育てています

平成25年度 中学校生徒海外派遣 実施報告 7月26日～8月6日

昭和49年から始まった大田区立中学校生徒海外派遣は、今年で29回目を迎えました。この事業は国際社会において信頼と尊敬の得られる人間性豊かな生徒を育成することを目的に、大田区立中学生56名(各中学校2名ずつ)が海外での生活体験をとおして外国の生活や文化の理解を深めるとともに外国語の習熟を図るものです。

今年度は7月26日から8月6日にかけて実施し、訪問先は大田区の姉妹都市であるアメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市とドイツ連邦共和国ブレーメン州ブレーメン市の2都市でした。

### Aコース (アメリカ・セーラム市)

Aコースはまずマサチューセッツ州都のボストン市を訪れた後、セーラム市にてホームステイを行いました。

ボストン市では州議会議事堂を見学し、セーラム市選出のキーナン議員より歓迎を受けました。またハーバード大学とフェンウェー球場を訪れたり、水陸両用のバスに乗って市内を巡りました。

セーラム市ではドリスコル市長を表敬訪問し、市議会議場にて派遣団として公式挨拶を行いました。さらにピーボディ博物館や魔女博物館等を見学し、同市の歴史や伝統文化に触れました。



### 生徒の感想から

「明日こそは自分から声をかけよう」と決意し、その日はすぐに寝てしまいました。次の日、昨日決意したことを実行しようと、思い切って声をかけてみました。すると、4人とも僕の片言の英語に耳を傾けてくれ、一生懸命に会話をしてくれました。5日目、6日目、7日目とホストファミリーと過ごすうちに、緊張や不安はなくなっていき、8日目にはジョークを交えての会話までできるようになりました。そして最終日、やっと慣れてきたと思ったらもうお別れ。この時ほど時間の無情さを感じたのは初めてでした。あと2日、いや、1日でいいからセーラムにいたい、日本に帰りたくない、そう思いました。

12日間の海外派遣を終えて日本に帰ってきたとき、なんだか自分が少し大人になった気がしました。アメリカで学んだことは今後あらゆる面で自分の自信へと変わると思います。」



「Doe-a deer, a female deer.」  
矢口小学校6年2組の外国語活動の授業中、黒板の前に立ち、発音のお手本を担当するのは、学校支援地域本部が募集したボランティアです。教室では担任と外国語活動担当の教諭のほか、3名のボランティアが児童一人ひとりに英語で話しかけていました。  
矢口小学校のボランティアは、旅行会社勤

務経験者や海外滞在経験者、卒業生の保護者など多彩な顔ぶれ。それぞれの経験や持ち味を授業に活かしています。

ボランティアの参加により、児童からは「困ると教えてもらえる」「発音がいいので参考になる」といった声が聞かれ、安心して授業に臨んでいる様子が伺えます。

外国語活動担当の大橋先生は「ボランティアの方一人ひとりからのほげましを、子ども達は感じ取っているようです。コミュニケーションを学ぶ上で、こうした大人との関わりや交流も大事にしていきたいと考えています。」と話していました。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

### Bコース (ドイツ・ブレーメン市)

一方のBコースは、バイエルン州ミュンヘン市にて1泊した後、ブレーメン市でホームステイとものづくり体験を行いました。

ブレーメン市では、世界遺産に登録された市庁舎があるマルクト広場で全員でドイツ語の「ムシデン」を合唱しました。ローランド像の前で堂々と歌う生徒たちの姿に多くの市



民が足を止め、その歌声を聴いて微笑み、一緒に口ずさむ人もいました。

ものづくり体験では、パン作りやフェルト制作および車の部品作り等を体験し、マイスター制度をとるドイツの仕事に対するプロ意識に触れ、大田区の町工場等に引き継がれている職人の技の伝承との共通点や相違点を学ぶことができました。



### 生徒の感想から

「フェアウェルパーティーでは、披露した茶道に深く興味をもってもらい、お作法やお道具の使い方を教えることができました。抹茶を飲むことが初めてだったシュルツさんに、点てたお茶を『おいしい』と言ってもらえた時はとても嬉しく、日本の文化を紹介できて良かったと思いました。

見学先ではドイツの文化に触れることができ、様々な体験をさせてもらい、全てが印象に残りました。ドイツは絵に描いたような美しさで、歴史を感じる建物がたくさんありました。

今回の派遣をとおして、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。特にホームステイでは心が通い合うことの素晴らしさを改めて実感することができました。伝えようとする気持ちがあれば心は伝わる。ドイツで学んだことを今後の学校生活にも生かし、周りの人にも広く伝えたいです。」

今回の派遣をとおして、生徒一人ひとりが豊かな国際感覚を身に付け、自信をもって世界で活躍できる人間になってほしいと願っています。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 矢口小学校 外国語活動 ～地域が支える授業作り～

教育委員会では、学校の教育活動を一層充実させるため、地域全体で学校を支援する仕組みとして学校支援地域本部(スクールサポートおおた)を設置しています。本年度より、全区立小中学校に設置され、様々な活動をおして学校への支援が行われています。矢口小学校の事例をご紹介します。

「Doe-a deer, a female deer.」

矢口小学校6年2組の外国語活動の授業中、黒板の前に立ち、発音のお手本を担当するのは、学校支援地域本部が募集したボランティアです。教室では担任と外国語活動担当の教諭のほか、3名のボランティアが児童一人ひとりに英語で話しかけていました。  
矢口小学校のボランティアは、旅行会社勤

務経験者や海外滞在経験者、卒業生の保護者など多彩な顔ぶれ。それぞれの経験や持ち味を授業に活かしています。

ボランティアの参加により、児童からは「困ると教えてもらえる」「発音がいいので参考になる」といった声が聞かれ、安心して授業に臨んでいる様子が伺えます。

外国語活動担当の大橋先生は「ボランティアの方一人ひとりからのほげましを、子ども達は感じ取っているようです。コミュニケーションを学ぶ上で、こうした大人との関わりや交流も大事にしていきたいと考えています。」と話していました。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535



# 平成25年度 大田区学習効果測定



大田区では、児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握するため、区立学校に通うすべての小学校4年生から中学校3年生を対象に、学習効果測定を平成20年度から毎年実施しています。

右の表は、平成25年4月に実施した学習効果測定において、目標値を上回った児童・生徒の割合を示しています。小学校では、全体的に70%程度の児童が目標値を上回り、第4学年の算数、第5学年の算数・理科では前年度の数値を上回りました。中学校では、第1学年の社会、第2学年の全教科、第3学年の国語・社会・理科・英語で、前年度を上回りました。

おおた教育振興プラン「学力向上アクションプラン」の成果指標である中学校3年生数学の達成率は、平成25年度の成果指標60%を超え、60.6%でした。学力向上に向けた各校の取組の成果の表れと考えます。今後も継続した取組を進めていきます。

期待正答率を超えた児童・生徒の割合(%) [カッコ内は前年度]

	小学校 (60校)			中学校 (28校)		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	63.6% (67.8%)	76.7% (77.0%)	76.3% (79.8%)	69.5% (76.7%)	80.5% (67.7%)	71.3% (69.0%)
社会	76.2% (78.0%)	72.8% (74.5%)	70.5% (72.5%)	65.3% (65.2%)	58.5% (52.0%)	48.8% (45.6%)
算数・数学	78.9% (78.5%)	74.7% (70.4%)	73.8% (74.7%)	67.8% (76.7%)	62.8% (59.1%)	60.6% (61.9%)
理科	71.1% (73.4%)	69.4% (67.6%)	64.8% (69.2%)	58.7% (62.2%)	52.2% (51.3%)	50.7% (41.1%)
英語					69.5% (68.5%)	67.8% (63.7%)

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

## 授業改善セミナーを開催しました

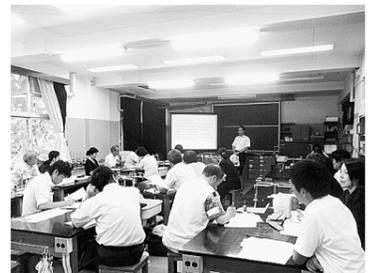
授業改善セミナーは大田区の学力向上を図る上で重要な施策の一つです。

本年度は、8月19日(月)から28日(水)までに行われた教科等専門性向上ウィークの期間に、第15回授業改善セミナーを開催しました。小学校は池上会館と池上小学校、中学校は志茂田小学校と志茂田中学校を会場に実施しました。午前中は、主任教諭を対象に授業改善リーダーによる授業改善のポイントの報告と人材育成の具体策について講義を行い、午後は、初任から4年次までの若手教員による模擬授業を主任教諭が指導する研修を実施しました。若手教員は、主任教諭から豊富な経験に基づく指導を受け、実践的な指導力を高めることができました。また主任教諭からは「若手の熱意に触れ、よい刺激となった。」「他の主任教諭の指導が大変参考になった。」との感想が寄せられ、人材育成について実践的な研修となりました。

9月25日(水)には、萩中小学校と出雲中学校を会場として第16回授業改善セミナーを実施し、授業改善リーダーによる授業改善のポイントに基づいた授業を公開しました。区内全ての学校から教員が参加し、授業改善に向けて真剣に協議する研修となりました。

今後も、学力向上に直結する教師の授業力の向上を図る研修の充実を進めていきます。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



## 大田区の先生はがんばっています～現場の声から生まれた本と道塚小学校の国際理解教育～

平成23年度から実施された新学習指導要領に基づき、小学校では5・6年生を対象とした「外国語活動」の授業が年35時間実施されています。こうした中、大田区の教諭らが発案した、「外国語活動」で使用される教材の解説書『小学校外国語活動 これぞ完璧! "Hi, friends!" 誰でもできる全時間の基礎・基本』が出版されました。編集に携わった道塚小学校の山本恵美子校長を取材しました。

### 一 解説書を出版することになった経緯を教えてください。

「平成21年度に大田区教育研究会に外国語活動部が設置されました。暗中模索の中、部員70名ほどでこれから始まる外国語活動の授業の進め方を研究し始めました。平成23年度に教材が『英語ノート』から『Hi, friends!』に変わり、文部科学省から大変きめ細やかな指導書などは配布されていたものの、授業準備に時間がかかるなどの課題がありました。そんな中、平成24年2月に東調布第一小学校の白石教諭と茅根教諭が「現場の声を生かした外国語活動のマニュアル本を作りたい」と私に説明に訪ねてこられ、その熱意に感動しました。すぐに教育委員会や区長に連絡を取り、出版への協力を申し出ました。その後、14名の教員で夏休み中に制作を進め、25年6月についに発行となりました。」

一 道塚小学校には、独自の取組として、小学校1・2年生は年8時間、3・4年生は年12時間のワールドタイムと呼ばれる英語に親しむ時間がありますね。また、日本に留学中の外国人学生などを招いて児童たちとの交流を図る国際交流の会も開かれています。児童はどんなことを学んでいるのですか？

「ワールドタイムは、リズムなどを使って英語に親しませることが狙いです。国際交流の会は年間2～3回開催しています。子ども達は本当に楽しみにしているんですよ。ある児童の感想に、「相手によって言い方を変えたりしなきゃいけないことが分かった」と書かれていました。すごいことに気が付いてくれたと思いました。相手がわかるまで親切に説明してあげること、これが国際理解だと思います。」

一ありがとうございました。



▲道塚小学校 山本恵美子校長

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535



かわせはすい

# 郷土博物館特別展 「川瀬巴水一生誕130年記念」

川瀬巴水は、明治16（1883）年5月18日、現港区新橋に生まれました。今年が生誕130年にあたります。これを記念して、大田区立郷土博物館では特別展「川瀬巴水一生誕130年記念」を開催いたします。

江戸時代以来続いた伝統的な木版画技術は、明治時代に入り衰退の一途をたどります。これを憂いた渡邊庄三郎は、新しい時代の浮世絵版画「新版画」を提唱し、その制作、普及に努め、自ら版元となり次々と木版画を出版しました。巴水はその新版画の絵師として活躍し、風景画を中心に、生涯に約700図を制作しました。作品は制作当初から国内だけでなく海外へも輸出されたため、巴水の名は世界的に知られ、多くの愛好家、コレクターが存在します。



「絶筆 平泉金色堂」昭和32年作  
(後期展示作品)



「野火止平林寺」の摺りあがりを確認する川瀬巴水/昭和27年4月29日  
(川瀬文子氏・写真提供)

巴水は大正15（1926）年に現大田区中央四丁目に転居し、昭和5（1930）年には現大田区南馬込三丁目に移りました。戦中は栃木県塩原に疎開しましたが、昭和23（1948）年以降は、32（1957）年11月27日に亡くなるまで、現大田区上池台二丁目で過ごしました。その版画制作活動39年の内31年を区内に拠点を置いて展開したことになります。

巴水のことを「旅情詩人」と呼んだのは盟友でもある伊東深水（大田区立池上梅園は深水の住居・アトリエ跡です）ですが、巴水は生涯を通じて日本各地を隈なく旅行し、その風景を、そこに暮らす人々、四季折々の生活と共に描き、詩情あふれる版画にしました。巴水は旅から帰ると、各地で描いた写生を基に版画制作の見本となる原画（多くは水彩画）を描きました。その原画を版元に持ち込み、制作が決まると、版下絵を描きます。版下絵は、彫師が版木に貼り、墨板・色板が彫られます。この版木で摺師が試摺をして、出来具合について絵師や版元と協議した後、本格的な摺りが始まり、作品が完成します。

今回の特別展では、生誕130年の年にふさわしくなるよう、完成した木版画作品だけでなく、写生帖、原画、試摺など、ふだん見ることのできない資料も含め約500点を展示します。そして、川瀬巴水の全期間にわたる制作活動を紹介します。この機会に、巴水の版画芸術をお楽しみいただければ幸いです。



「暮れ行く古川堤」大正8年初夏 (前期展示作品)

## 開催概要

- 会期 平成25年10月27日(日)～平成26年3月2日(日)
- 展示替え休館：12月2日(月)～6日(金)、1月20日(月)～24日(金)
- 前期「大正期から関東大震災後の復興期までの作品」 10月27日(日)～12月1日(日)
- 中期「昭和初期から10年代の作品」 12月7日(土)～平成26年1月19日(日)
- 後期「昭和20年代、及び晩年の作品」 1月25日(土)～3月2日(日)
- ※前・中・後期、全作品の展示替えをします
- 会場・問合先 大田区立郷土博物館(大田区南馬込五丁目11番13号)  
電話3777-1070 FAX3777-1283
- 主な交通手段 地下鉄「西馬込駅」から徒歩8分。「大森駅」北口(山王側)から東急バス「荏原町駅入口行き」で「万福寺前」下車徒歩2分。
- 入館料 無料
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12月29日から1月3日)

## 会期中の催し物

### 特別展講演会「渡邊版画店と川瀬巴水」

講師：渡邊章一郎氏(渡邊木版美術画舗社長 テレビ東京「なんでも鑑定団」浮世絵鑑定士)  
日時：11月3日(祝)14:00-17:00  
会場：郷土博物館会議室  
申込：不要。当日会場へお越しください。  
定員：80名  
※講演会終了後、図録へのサイン会を開催

### 版画摺師実演「新版画摺師の仕事を見る」

講師：渡辺英次氏(渡邊木版美術画舗摺師)  
日時：第1回1月12日(日)10:00-17:00  
第2回2月9日(日)10:00-17:00  
会場：郷土博物館会議室  
申込：不要。当日会場へお越しください。  
定員：80名  
※実演中の出入り自由

### 赤ちゃんといっしょに博物館へ

日時：第1回12月12日(木)10:00-11:30  
第2回2月20日(木)10:00-11:30  
会場：郷土博物館会議室及び特別展示室  
対象：0歳～2歳までの乳児と保護者  
申込方法：往復はがき  
定員：10組  
※内容はお問い合わせください

### 展示解説

日時：第1回10月30日(水)14:00-15:00  
第2回12月14日(土)14:00-15:00  
第3回1月25日(土)14:00-15:00  
会場：郷土博物館特別展示室  
申込：不要。当日会場へお越しください。

## 地域と学校のつながりを深めています ～区民大学から生まれた新しいプログラム～

社会教育課では、現代的課題(人権・災害・環境・福祉・高齢化・まちづくり等)をテーマに、区民が主体となり学習を深める契機として、区民大学を開設しています。昨年度、区民大学の講座の一つとして開催された「あなたもまちの学校の先生に～子どもたちとワクワク・ドキドキ教育を!～」と、本講座から生まれた「ワクドキ研究会」の活動をご紹介します。

### あなたもまちの学校の先生に ～子どもたちとワクワク・ドキドキ教育を!～

本講座は今年の1月から3月までの間に開催され、20代から70代までの30名の区民が参加しました。講座では、これまで地域と学校が協力しながら実施してきた久原小学校の「夏のドキドキ学校」など先進事例を学び、「どのように新しいコミュニティーを学校と一緒に作れるか」という視点で参加者同士が話し合いました。

講座終了後には、受講者有志による「ワクドキ研究会」が立ち上がり、地域で子どもに関わる大人の役割を考えたり、情報交換をするなど、現在も定期的に活動しています。ワクドキ研究会では、今年度、夏休みに各学校で開催された夏のわくわくスクールの場で、「マジック」「やる気を引き出す魔法の質問」「キャンプファイアー」など、新しいプログラムを実践しました。参加した子どもはもちろん、大人も楽しみながら学ぶ時間が持てたようです。様々な経験を持った地域の人がつながり、協力することによって豊かな学びの機会を生み出しています。

### 「まじっく缶」～マジシャンまっさんとさゆみによる不思議体験～



8月9日、大森第五小学校のわくわくスクールに、ワクドキ研究会も参加しました。「まじっく缶」のコンビ名で活躍するマジシャンまっさんとさゆみペアが手品の授業を行いました。初めに2人の手品が披露されると、子どもたちは身を乗り出し、目は釘付けに。その後、マジックの歴史や2種類の手品を習い、ペアを組んで練習・発表しました。

「今の子どもたちに不思議を体験してもらいたいんです。」と、マジシャンまっさんさん。一方のさゆみさんは、「講座の受講をきっかけに、いろいろな方と知り合えました。今後もこうした活動を広げていきたいです。」と話していました。



# 平成26年度 新入学児童・生徒の 就学通知書は12月下旬にお送りします

大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもを見守り育てるため、地域に根ざした学校づくりを目標とし、お住まいの住所地によって学校を定める指定校制度を採用しています（通学区域は区のホームページでご確認いただけます）。したがって、学校選択制ではありません。

ただし、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請により指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

平成26年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の一斉受付は、1月上旬に区役所本庁舎で行う予定です。日程等の詳細は就学通知書をご覧ください。

なお、指定校変更での受入れを制限する学校については、区のホームページでは12月上旬から、大田区報では12月21日号でお知らせします。



### 【ご注意ください】

- 学校施設の収容規模などによって受入れが困難な場合は、理由の如何を問わず指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は抽選によって入学を決定することがあります。その場合、申請理由に優先順位は設けません。
- 現在、小学校1年生及び2年生は1学級を35人で編制しています。今後、他学年にも少人数学級化が拡大し、学級数が増える可能性があります。そのため教室数との関係で、指定校変更による受入れを制限する学校の増加が見込まれます。
- 現在指定校変更で通学している小学校と通学区域が重なっている中学校へ入学を希望する場合でも、希望する中学校が指定校でない限りは指定校変更申請が必要です。
- 兄弟が指定校変更を許可されても、数年後に弟妹が入学するときも同様に指定校変更を許可されるとは限りません。指定校変更により兄弟姉妹が別の学校になってしまう可能性があることを踏まえて慎重にご検討ください。
- 私立学校等を受験予定であっても、区立であれば指定校以外に入学を希望する場合は、受験結果を待たず受付期間中に指定校変更申請を行ってください。
- 大田区外から大田区立小中学校に区域外就学することはできません。
- 住所を偽って就学通知書を受ける等不正な手続きで就学した事実が判明した場合は、入学後においても転校していただきます。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

東御市教育委員会より

## 写真集CD「湯の丸高原花と蝶」 が贈呈されました

平成25年7月8日、大田区教育委員が大田区の友好都市である長野県東御市を訪れ、花岡利夫市長を表敬訪問しました。当日行われた贈呈式では、花岡市長より、東御市の「浅間山系ヤマシロチョウの会」が作成したデジタル写真集CD「湯の丸高原花と蝶」60枚分の目録が、大田区の横川教育委員長に手渡されました。同写真集CDには花182種1314枚、チョウ61種116枚、ニホンカモシカなど高原の風景83枚の計1513枚の写真が収録されています。大田区立小学校では、6年生時に3泊4日の移動教室を東御市の宿泊施設「休養村とうぶ」にて行っており、CDは移動教室の事前学習などに役立てられる予定です。



▲東御市花岡市長（手前左）より写真集CDの目録を受け取る横川教育委員長（手前右）



▲キバナヤマオダマキ



▲ヒメシロチョウ



▲ニホンカモシカ



▲つつじ平

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

## スポーツ健康都市宣言記念事業

### 第30回大田区区民スポーツまつりの開催

本年度で第30回目を迎えた大田区区民スポーツまつりは10月14日（月・体育の日）に大田区総合体育館をメイン会場として区内各会場で開催されます。

会場ではスポーツ推進委員や区内スポーツ団体などの協力により、体力測定で自分の運動能力をチェックしたり、さまざまなスポーツやレクリエーションを楽しむことができます。これを機会にいろいろなスポーツを体験してください。

プログラム、会場についての詳細は、大田区報9月21日号等でご案内するとともにホームページにも掲載しています。ご家族やお友達など、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

▽日時：平成25年10月14日（月・体育の日）

10：00～15：00（種目によって異なる場合があります）

▽会場：大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川緑地区立小・中学校、民間スポーツ施設など

#### 【主なスポーツ・レクリエーション】

- 空手、和弓、民踊、合気道、太極拳、武術太極拳、少林寺拳法、カンフー、テコンドー、ボクシング、ウェイトリフティング
- バトントワリング、レクダンス、エアロビクス、シニア健康体操、キッズダンス
- トレーニングマシン体験、体力テスト、骨密度測定、健康増進相談
- バドミントン、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、ミニテニス、卓球
- 水泳、釣り、ボート、カヌー体験教室
- タッチ&タグラグビー、グラウンドゴルフ、乗馬、陸上タイムトライアル、サッカー、ゲートボール
- スポーツ吹き矢、ビームライフル、インディアカ

問合先 (公財)大田区体育協会 TEL 5471-8787 FAX 5471-8789

問合先 社会教育課スポーツ推進担当 TEL 5744-1441 FAX 5744-1539

ホームページ [http://city.ota.tokyo.jp/event/event\\_sports/ibento-supu-tumaturi.html](http://city.ota.tokyo.jp/event/event_sports/ibento-supu-tumaturi.html)



▲カヌー体験教室の様子

#### 表彰

□スポーツ部門

- 第44回関東中学校体操競技大会 総合10位、跳馬3位、平均台5位
- 第44回全国中学校体操競技選手権大会 総合7位、跳馬5位 大森第七中学校 2年 山崎琴葉

#### 教育委員会の主な議題

- 平成25年第7回定例会
  - 平成25年度 第三次補正予算要求原案について ほか2件
- 平成25年第8回定例会

- 平成25年度 第三次補正予算要求原案について ほか3件

#### 教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成25年10月23日（水）  
平成25年11月6日（水）  
平成25年12月24日（火）
- 時間 午後2時から
- 場所 本庁舎6階教育委員会室  
※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。
- 問合先 教育総務課庶務係  
TEL 5744-1422  
FAX 5744-1535